

福島大学行政社会学部・行政政策学類創設30周年記念プロジェクト
富岡町の歴史資料とふるさとへの想いを未来へつなぐ

東日本大震災・福島第一原発事故災害以降、本学類の教員・学生を中心に、富岡町の歴史資料保全活動を支援してきた。本プロジェクトでは、富岡町で歴史資料保全活動と現地調査を実施し、その成果を広く発信して、富岡町の歴史を未来へつなげる支援の一助とする。

代表者 阿部 浩一 構成員 菊地 芳朗 徳竹 剛 院生・学生有志

2012～2013年

2014年～現在

30周年プロジェクト

文化財レスキュー・
歴史資料保全活動

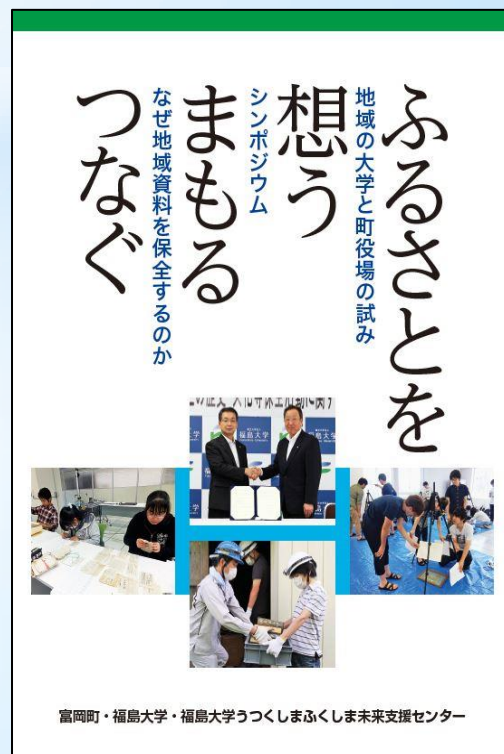
富岡町の歴史資料
保全活動の支援

富岡町での保全
活動・現地調査
⇒成果報告

救出された文化財を
一時保管場所へ

町が救出した資料を
撮影し記録する

富岡の今



問い合わせ先：行政政策学類 阿部 浩一 abe@ads.fukushima-u.ac.jp